

1. 教育理念・教育目標

〈教育理念〉外国語教育とマナー教育をベースに、航空・観光・国際ビジネス業界などに必要な専門教育を施すとともに、様々な接客サービスに関する知識、技能と高いプロ意識を持った人材の育成を持って社会に貢献する。

〈教育目標〉「学歴」よりも「何ができるか」が求められる時代において、「わかる」だけでなく「できる」人材を育成するために、下記の3点を教育目標とする。

1. 専門職種に直結した知識・技能の習得と資格取得を目指す
2. グローバル化された社会に対応すべく、聞いて理解でき、話せる実践語学力の習得を目指す
3. すべての仕事に通じるホスピタリティマインド（おもてなしの心）の育成を目指す

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

入学者の定員確保を継続しながら就職指導体制の組織化と学生の入社後の企業連携を模索し、カリキュラムのムリムダムラを削減して2年間・3年間という短い時間の中で最大の学習効果を上げるために学習時間を増やす工夫を実践していく。

- ・令和元年度入学生募集定員110名以上を確保し、かつ入学生の質の向上に努める。
- ・求人体制の見直しと強化を図るとともに、就職指導の範囲を拡大し、ステークホルダーに対しての就職満足度を高める。
- ・カリキュラム構成の見直しを行い、学生の授業満足度向上を図る。
- ・授業外での学びも充実させ、2年間トータルでの学習時間の増加を狙い、学生の学習到達度のレベルを向上させる。
- ・観光分野、語学分野の範疇から在籍数300名超の学校を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

(1) 教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色が明確に示されているか	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
自己 総合評価		3.8

成果と課題

- (1-1) 教育理念並びに教育目標は、「学校案内書」や「学生便覧」およびHP上に記載し明確となっている。
- (1-2) 本校の教育の特色である基礎教育（英語・マナー教育など）と専門教育については、同じく「学校案内書」「学生便覧」などに明示され、入学直後のウェルカムセミナーにて学生全員に説明し周知を図っている。
- (1-3) 将来の社会ニーズを踏まえた将来構想については、訪日観光客の増加やグローバル化に伴い、オンライン英会話の導入など「使える」英語教育の更なる推進と観光系分野及び海外流通関連分野への就職先の拡大を目指す。
- (1-4) 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などについては、入学前の「学校案内書」に詳細を記したり体験入学等で保護者の方にも説明したりと周知を図るとともに、入学後は個人に配布される「学生便覧」に記載、入学直後のオリエンテーションにて学生全員に説明し周知を図っている。
- (1-5) 業界ニーズとの整合性については、「職業実践専門課程」の実践において、各企業様からの教育アドバイスや提

案をカリキュラムに反映したり、教員をブラッシュアップ研修に受け入れていただいたりすることにより、現実に即した人材育成の方向性がより明確になることにより実現されている。

今後の改善方策

- ・教育理念について今までの就職先の実績やシーズ志向的な要素を加えて発信する。
- ・本校教育の特色をより分かりやすく明示できるようにする。
- ・現状の新型コロナウイルス拡散による観光系産業のダメージを踏まえ、観光系を目指す学生に将来の希望を絶やさぬような体制を構築する。
- ・学校方針を入学後も保護者の方に再度周知を図れるように後援会総会等で発信していく。
- ・業界ニーズを企業様とのやり取りの中で職種ごとに明文化し教職員で共有していく。

学校関係者 評価コメント

- ・(1-4) に関して、現在学校全体ではなく、弊社が携わるクラスを見る限りで来ていると感じましたので、この評価にさせていただきました。
- ・このような社旗状況なので、オンライン授業などを、多く取り入れて、在学生の不安を少しでも解消していくことが2020年度は必要になっていくと思います。
- ・上記、今後の改善方策にあるようにコロナ対応による様々な見直しが必要になると考えます。
- ・他校との差別化、区別化となる各種取り組みや実験などをより前面に出すべきか。多くの中の一校と埋もれない、ならないように。
- ・新型コロナウイルスにより就職に不安を持つ学生が増える事が予想されます。
- ・改善対策も必要であるが保護者様に対しても、今後の業界の展望を予想し不安解消を図るようにしたほうが良い。

学校関係者評価平均

3.9

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
自己 総合評価		4.0

成果と課題

(2-1)シラバスについては、各授業開始時に配布し、科目の目標と授業方法、授業内容および教務規定に基づいた前

期後期の成績付けの基準を示した説明した。今年度よりシラバス公開が義務化され学校 HP により公開されている。

(2-2)教育到達レベルや学習時間については、年度当初に年間スケジュールを配布し学生へのガイダンスを実施している。

(2-3)コースごとに目標人材育成を念頭に必要な教科科目の科目間関連図を考えながらカリキュラムを構築し、その内容を学生便覧で示している。

(2-4)学科等のカリキュラムについては、各科とも文科省の職業実践専門課程の運用に従い、年2回の教育課程編成委員会によりコース毎に関連業界団体と企業にご意見を頂きながら改定・推進を引き続き図っている。

(2-5)専門科目授業内での実技・実習に加え、職業実践専門課程における企業連携授業の実施や夏季休暇を利用したのインターンシップの実施をしている

(2-6)授業評価は前期末と後期末に行っている。

(2-7)成績評価の基準は学生に配布している学生便覧内の教務規定に明示されている。

(2-8)資格試験については、年間スケジュールに取り込み対策授業、年間目標や実績管理を行っている。

(2-9)ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アセスメントポリシーの作成を行い、実務経験者も含めて学校HPにて公開している。

(2-10)毎年、教員の担当コースに関わる企業にてブラッシュアップ研修を実施している。

今後の改善方策

- ・今後カリキュラム改定へ向けてのより一層の社会ニーズを踏まえた科目構成、学習内容の検討を行い早急に作成しなければならない。
- ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アセスメントポリシーについても高校生から見てわかりやすい表現を追求しなければならない。

学校関係者 評価コメント

- ・今後のカリキュラム改定の際に、弊社でもお手伝いできることがあれば、ご協力させていただければと思います。
- ・全般的に良く運営されていると思います。
- ・改善方策に「科目構成、学習内容の検討を行い」とありますが、とても詳細で解り易いと思いました。
- ・オープンスクールで話が合ったのかもしれませんが教員の方も研修を毎年されていることを知りませんでした。素晴らしいことと思います。
- ・改善策はスピード感重視でお願いします。・社会ニーズは年々変化している。
- ・今後も社会ニーズに敏感な学校であってほしいと思います。

学校関係者評価平均 **4.0**

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	4
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
自己 総合評価		3.8

成果と課題

(3-1)就職率は、航空関係はもとよりホテル業界の採用活動も徐々に早まっているが、引き続きほぼ100%を継続しており、令和元年度も順調な就職活動が進められたと感じている。

(3-2)資格取得については、英語検定取得向上にオンライン英会話導入の影響があることが新たにわかった。また、マナー系資格については、昨年に引き続き団体表彰や個人表彰を複数頂いたため、今後とも継続的に進めていき

たい。また、令和元年度の取得目標についてはおおむね目標を上回った。

(3-3)退学率については、国際エアライン科、観光・ホテルブライダル科、国際コミュニケーション科では、1.7% 国際交流科では、4.7%となり、全体として2.5%と平成30年度5.4%でより改善された。

(3-4)社会的な活躍評価は、就職先企業や校内企業講演会やインターンシップ等での企業との交流より把握している。また、ボランティア活動も在校生の社会的な活動として評価しており、特に今年度は国際会議への学生の派遣ができたが、全体的な様子を数値化して把握するまでに至っていない。

今後の改善方策

- ・退学率を低い水準に収めるためには、教職員のきめ細かな気づきや教員間の連携が必要と考えられるので、これを組織的に行う方法を組み立てていく。
- ・卒業生の活動状況の追跡は、今後の教育活動の参考となるべきものであるため早急に計画し実施し、定期的な実施までも模索したい。

学校関係者 評価コメント

- ・卒業生の活躍、社会的評価に関しては、定着率、貢献度などいくつかの項目を設定し、数値化して企業にアンケートを出し、定期的に測定することにより、評価できるのではないかと感じました。
- ・弊社ではネット・プロモーター・スコアを利用し、最終的に留学に行った生徒が自分の友人にEFを紹介したいかどうかを1～10点評価を付けてもらい、今後のサービスに活かしています。
- ・資格取得は学生の自信につながる点でもあるので、引き続きサポートをお願いしたい。
- ・就職率も退職率もその年の社会状況に大きく左右されると思います。今年度は厳しい年となりそうなので、学生への経済的支援はもちろんのこと、精神的なケアも必要となってくると思います。
- ・HPに載っている卒業生就職後のコメント欄、少し遅い気がします。
- ・改善策の早期実現を。
- ・今多くの企業でブラザーシスター制度が導入されています。
- ・教員と生徒のコミュニケーションも重要と感じるが生徒間でのコミュニケーションを今後重視することで
- ・就職相談や学校相談などが行える事で、結果退学者減少にもつながるのではないかと。

学校関係者評価平均 **3.8**

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	3
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

自己 総合評価 **3.9**

成果と課題

(4-1)就職支援については、就職担当を中心に各コースの担任と連携して支援している。特に、面接指導などでは、担任以外の先生方の横の連携も取りながらきめ細かく対応できている。

(4-2)完全ホームルーム担任制を実施しており、担任を中心に学生相談および学生情報の職員間情報共有が行われている。特に、新入生においては、入学時5月時点で個別面談シートを活用し学生個々の把握に努め、学校生活への

スムーズな移行に努めている。内容によっては家庭との連絡を密にすることにより学生の不安解消に対応している。

(4-3) 経済的支援に関しては、高等教育修学支援制度の確認校として認められ、授業料の減免が受けられる学校となっている。また学園特待生の拡充と日本学生支援機構（奨学金）の窓口を設置し業務を行っている。入学時予約生から入学後希望者の手続き、年次更新手続き、2年次終了時の返還手続きについての説明会など分掌業務として奨学生へのサポートを行っている。

(4-4) 4月の健康診断の実施に基づき、経過観察の必要な学生については学校医との相談を行っている。また、メンタルケアとしてスクールカウンセラーを設け、学生の要望に応じて無料で個人カウンセリング実施している。また、感染性（インフルエンザ）の疾病による休講処置も発生していない。

(4-5) 保護者への連絡と相談の多くは、欠席が目立つ学生について実施している。場合によっては、来校していただき直接話し合いの場も持っている。特に問題となるケースは発生していない。また、学期末再試験時には、必ず保護者への連絡を行っている。

(4-6) 卒業後の就職支援は個別の問い合わせに対して行われている。

(4-7) 高等学校に対する職業支援は、就職指導や分野体験などのスポット授業を依頼されるケースもあるため、無償にて対応している。その際には、該当高等学校出身の学生、または卒業生を同伴するケースもある。

今後の改善方策

- ・卒業生への、卒業後の状況追跡について今後計画し実施をしなければならない事項と考えている。

学校関係者 評価コメント

- ・卒業生の支援体制に関しては、教育成果の卒業後の活躍、評価の部分クリアにすることにより、課題が見えてくるかと思えます。
- ・特に FY20 以降は航空業界の就職困難な状況が続くと予想されるため、早いタイミングで卒業生の就職支援の制度が整うことを望んでいたきたい。
- ・私も卒業生への支援体制は、どこまでの支援が必要かどうかを決めればいいのではないかと思います。とはいえ、卒業生としては心の拠り所が学校であり先生である場合もあるので、一概には言えません。
- ・仲間にも話せないことを事務員の方にも話を聞いていただいているようでありがとうございます。・今後に期待しています。
- ・卒業後の状況追跡は色々な状況の方がいると思う。
- ・様々なパターンを想定して計画を立ててほしい。

学校関係者評価平均 **3.8**

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	3
5-5	防災に対する体制は整備されているか	3
自己 総合評価		3.6

成果と課題

(5-1) 学内分掌表にて、教室等や設備備品についても管理者を決め管理している。

(5-2) 自習用施設については、放課後や長期休みなどに、主に職員室に近い教室を中心に学生に開放していることを

案内している。

(5-3)教員より要望のある教育機材においては、積極的に購入し揃えている。特に、電子黒板も2台増設したり、ワイヤレスディスプレイ接続器を購入し利便性アップを図ったりしている。

(5-4)学生の増加の伴っての教室の不足は解消されていない。現状、静岡産業技術専門学校の教室を借りながら授業教室の割り当てを行っている。

(5-5)防災については、防災の日前後に防災訓練を行っている。学生の防災ヘルメットの購入増ができた。休日・夜間警備はセコムのシステムを導入しており、開校日は職員が放課後に当番制で学内の見回りを実施している。

今後の改善方策

- ・機器の導入はしても、使う側の利用手順がわからなければ利用効果が半減してしまう。今後、教員側の使用方法の熟知、周知を進めなければならない。
- ・災害用学生ヘルメットについては、いまだ学生数の半分程度であり、さらに計画的な購入を進めなければならない。防犯カメラについても来年度導入する予定である。

学校関係者 評価コメント

- ・学生数の増加を鑑み、本格的に移転を検討されたほうが宜しいかと思えます。
- ・災害用ヘルメットは計画的に購入を進めていただき人数分確保いただきたい。
- ・防災に関しては、優先して対応していただきたい。
- ・教室不足は、新型コロナウイルスのこともあるので、即時対応すべき課題ではありますが、オンライン授業等が主になってくるのであれば問題ないのかも知れません。
- ・ヘルメットは早急に準備をお願いします。
- ・今後コロナ対応も含めて、オンライン授業に対するニーズが増えるので、そのための設備投資を含めたハード面、ソフト面の検討が必要と考えます。
- ・教員の防災機器の不知はあり得ない、早急なマスターを。
- ・防災ヘルメットの学生全員分の配備を。
- ・改善にも書かれている通りで、利用方法の熟知は必修だと思う。より良い環境は設備とその設備を扱う側にかかっていると感じる。
- ・いつ起こるか分からない災害の備えは早急に準備してほしい。また学生が安心して過ごせる環境を作ってください。

学校関係者評価平均 **3.6**

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4

自己 総合評価 **4.0**

成果と課題

(6-1) 本校の学校案内書は、カリキュラムの詳細や目標資格・職業、就職指導の方法、開学以来の就職内定先企業の明記、卒業生の活躍など、詳細で情報量が多い。昨年度の114Pから更にページ数を増やし、126Pとすることで新しい情報への更新と内容充実を図っている。

(6-2) 募集要項では入試の詳細な要項や願書の様式及び学科・コース別の時期別学納金や必要経費、卒業までの全学費などと、奨学金の種類や申し込み方法までも詳細に掲載されている。

- (6-3) 募集活動は、月1回のペースで独自の学校説明会や体験入学を行う他、業者主催の進路ガイダンスへの参加を通して、教育方針や授業内容、施設設備の見学、就職状況の公開など志願者が必要とされる情報を詳細に説明又は公開している。また、語学やマナーなど本校の特長である基本教育部分においてはミスマッチがないよう詳細に伝える努力をしている。
- (6-4) 検定資格の取得状況や就職内定実績等、教育内容の指針となる教育実績をチラシやリーフレット、HP等で公開し外部に発信している。
- (6-5) 学納金は、私立学校として、日々の教育活動を維持するために必要な経費と将来の発展的学校運営への布石やイレギュラーの事態に対応できる程度の収益を確保することができるものとなっている。

今後の改善方策

- ・現在の予期せぬ事態に対応するため、新しい募集手段の導入と入試制度の改定を検討し、安定した学生募集を維持する。
- ・引き続き、教育実績の向上とミスマッチを防止するために、教育方針を十分に理解した上での入学を促進するとともに、入学希望者個々の目的意識や適性、意思力を見極め、意識の高いレベルの学生募集に注力する。

学校関係者 評価コメント

- ・貴校の募集関連書類は本当に良く出来ていると思います。
- ・入学前、毎月行かせてもらいました。私自身も3～4回来校する事で子供、在校生、先生の雰囲気がよく分かり行ってよかったと思いました。これから入学する方々にもぜひ「保護者との同伴」ここを強く希望いたします。
- ・(1)と同様に今後コロナ対応による様々な見直しが必要になると考えます。
- ・コースにより学生数の偏りが目立つ。
- ・学生数が少ない分コストが掛けられない＝学生数が減っていく。このジレンマを解消する必要があるのでは？

学校関係者評価平均 4.0

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	3
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4

7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
自己 総合評価		4.0
<p><u>成果と課題</u></p> <p>(7-1) 年度初めに該当年度の業務目標を上司とほぼ数値化して定め、年度末に業務遂行度合いを上司と面談し報告することにより評価している。</p> <p>(7-2) 職員間の情報共有は教務日誌にて毎日確認されている。さらに各分掌の作業内容手順についてまとめ上げ分掌が変更にも対応できる体制を作った。</p> <p>(7-3) 非常時の緊急連絡網は作成されており、災害時の会議や緊急時の学生・保護者・マスコミ対応の手順も文書化されている。</p> <p>(7-4) 災害・消防計画は整備され、訓練は9月に校舎を共有する静岡産業技術専門学校と連携し非常勤講師も参加する形態で実施できている。</p> <p>(7-5) 年度当初に理事長方針が発せられ、そのに基づき所属長方針が決められそれに従って各担当にて実施計画が作成されている。</p> <p>(7-6) 中期計画を基に該当年度の計画を作成している。</p> <p>(7-7) 日々の運営会議や全体での朝礼により、情報共有をし、日々の行動の合意形成を行っている。また、毎月職員会議を実施し、短期スケジュールの確認や課題等への意見交換や合意形成を行っている。</p> <p>(7-8) 人事・給与については人事規程が整備されており、人事評価は法人組織で一元化され、組織目標・個人啓発目標の設定を基に整備・運用されている。</p> <p>(7-9) 教務で必要なものは予算編成システム内で使用項目別に明確になって管理されており、実施には管理職の承認を必要としているなど整備されている。</p> <p>(7-10) 学校ホームページ内に情報公開リンクを定め、必要な情報を詳細に公開している</p> <p>(7-11) 職員の殆どの定型業務はシステム化が完了し稼働済みであるが、学生異動届け出についてはシステム化されていない。</p> <p>(7-12) 事業活動収支差額率について令和元年度はプラスで令和2年度もプラスが見込まれる。</p> <p>(7-13) 令和元年度の予算については、理事会承認後計画的に実施し、事業計画(給水改善工事、電子黒板・カラー印刷機購入、屋上防水工事等)について、すべて実施済みである。</p> <p>(7-14) 監事監査及び公認会計士監査を定期的に行い、会計処理の適正について高い評価を受けている。</p> <p>(7-15) 学校法人のホームページにおいて財務情報を公開している。</p> <p>(7-16) 法令、専修学校設置基準等の遵守については、県からの学校基本調査等で確認している。</p> <p>(7-17) 個人情報については、法人に個人情報に関する規定があり、これに則り学内に個人情報管理総括責任者や個人情報管理責任者を配置し、漏洩や不正使用の無いように努めている。</p> <p>(7-18) 自己評価を行うことにより問題点の把握に努め改善に努めている。</p> <p>(7-19) 自己評価結果については、関係者評価実施後に学校ホームページにて公開している。</p> <p>(7-20) ハラスメント委員会を学生及び職員に告知している。相談事項、具体的な問題の発生はない。</p>		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント委員会について学内だけではなく法人本部に窓口機関を設けるように検討案を提示しているので早い設置を望んでいる。 ・教務システムが本格的稼働となったが、細かな点ではまだ周知していない部分があり戸惑うこともある。 ・引き続き令和2年度においても計画的に予算執行を行うと同時に、退学者数の減少及び入学定員を確保することで安定した経営基盤を築いていく方針である。 		

学校関係者 評価コメント

- ・自己評価について、とても細かく分析されていて頭が下がります。エア・リゾート様の教育への熱心な姿勢が学生さんたちにも伝わり、更により良い学校になっていくのだと思います。
- ・ハラスメント対応の瑕疵は組織に甚大な被害を与えるので、初期対応に齟齬が生じない為にも、外部窓口等の早期設置は必要かと思われます。

学校関係者評価平均 4.0

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
自己 総合評価		4.0

成果と課題

- (8-1) 社会貢献、地域貢献については、一部コース内学生による朝の学校周りの清掃活動を続けている。ホスピタリティを重んずる教育理念のもとに、ボランティア担当教員を決め、可能なボランティア活動を紹介し、積極的参加を募っている。
- (8-2) 留学生受け入れについては、原則日本語学校卒業生を受け入れ、留学生担当教員による在留資格更新の手続き等を法令厳守のもと適切に実施している。
- (8-3) 留学生クラスについても担任制をとり学生指導に当たっている。欠席が続いた場合には、アパートへ出向くこともある。

今後の改善方策

- ・地域貢献については、今後、学生本人たちの住居近隣での作業や行事など積極的な参加を進められる手立てを検討したい。

学校関係者 評価コメント

- ・高校までは、例えば避難訓練に出たら地域の担当にハンコをもらい「出席した」という証明の紙などを学校に提出していました。
- ・地域貢献を面接でしっかりと話せる学生は企業としても欲しい人材の一要素だと思われます。推進をお願いいたします。
- ・地域貢献活動を通じてホスピタリティを学ぶ姿勢を評価したい。
- ・今後企業とタッグしたイベントやボランティアを行う事も良いのかもしれない。(卒業生を通じて企業に呼びかけなど)

学校関係者評価平均 4.0